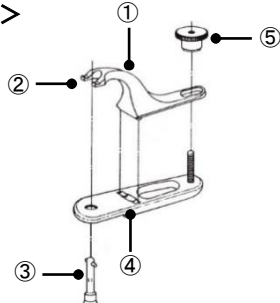


**器 39 医療用鉗子**  
**一般医療機器 再使用可能な包皮切除術中用クランプ (10869000)**  
**ガムコ無血環状切除クランプ**

**【形状・構造及び原理等】**

**<形状>**



- ① トッププレート
- ② フック
- ③ コーン
- ④ ベースプレート
- ⑤ ナット

**<構成>**

品番	種類	寸法 (適応する亀頭の太さ)
02-00-500	極小 (Extra Small)	1.1 cm (7/16 インチ)
02-01-500	新生児 (New Born)	1.3 cm (1/2 インチ)
02-02-501	幼児 (Infant)	1.45 cm (9/16 インチ)
02-03-501	子供 (Child)	1.6 cm (5/8 インチ)
02-04-502	青年 (Youth)	2.1 cm (13/16 インチ)
02-05-503	成人 (Adult)	2.6 cm (1 インチ)
02-06-504		2.9 cm (1-1/8 インチ)
02-07-505		3.2 cm (1-1/4 インチ)
02-08-506		3.5 cm (1-3/8 インチ)

**<原理>**

本品のコーンは包皮と亀頭の間装着され、その外側にベースプレートが装着される。コーンのアームをトッププレートのフックに引っ掛け、ナットを締め付けると、テコの作用により包皮はコーンとベースプレートの間において圧挫される。この状態で約 10 分経過後に、包皮をメスで環状に切除すると、包皮は出血なしに切除される。

**【使用目的又は効果】**

包皮切除術中に陰茎の包皮を圧迫するために用いる外科用器具をいう。この器具は滅菌後、再使用できる。

**【使用方法等】**

**〔使用準備〕**

- 1) 【保守・点検に係わる事項】に従い、使用前点検を行う。
- 2) 必要に応じ剃毛後、手術野を消毒し局部麻酔を行う。
- 3) 包皮の切除予定線をマークする。

**〔使用方法〕**

- 1) 包皮と亀頭の間にはコーンを装着する。
- 2) 包皮輪の適当な 2 箇所 (例えば背側と縫線部) を鉗子で把持し、コーンに薄くワセリンを塗ってこれを包皮 (内板) と亀頭の間には滑り込ませる。または、包皮を翻転してからコーンを滑り込ませる。
- 3) 真性包茎では、そのままではコーンが入らないため、鉗子などで包皮輪を拡げ、2 本の鉗子を包皮背面にやや深く入れて背面切開をする必要がある。その切開の長さはコーンが入る必要最低限とする。
- 4) 包皮の内板と外板のずれは最小とすること。
- 5) 予めマークした切除予定線とコーンの円周を一致させる。

- 6) 使用するコーンのサイズが小さいと、術後に嵌頓包茎のように内板に浮腫をきたすので、なるべく大きいコーンを使用するのが良い。
- 7) あらかじめナットをいっばいに緩めておき、ベースプレートの孔にコーンを通し、その 2 点を合わせる。
- 8) 包皮輪を把持している鉗子はベースプレートの孔を通して把み直し、切除予定線とコーン円周位置を再確認する。
- 9) トッププレートのフックをコーン上部のアームに噛み合わせ、トッププレート下部の凸部をベースプレートのノッチ (凹部) に合わせた上で、ナットを締め付ける。
- 10) トッププレートのテコによって、包皮はコーンとベースプレートの間において徐々に圧挫される。包皮輪を把持している鉗子はずす。この状態で約 10 分間待つ。
- 11) 10 分経過後、包皮にメスを環状に入れると、包皮は出血なしに切除される。

**〔使用後〕**

- 1) ナットを緩めてトッププレートのフックをコーンのアームから外す。
- 2) 包皮 (内板と外板) の切断端は約 1mm 幅で圧挫され、コーンの裾にまつわりついている。この圧挫帯を丁寧にコーンから離してコーンを取り除く (丁寧に取り除かないと出血のおそれがある)。
- 3) 必要に応じ、包皮切除端の縫合を行う。

**【使用上の注意】**

**<重要な基本的注意>**

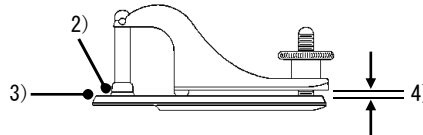
- 1) 本品は滅菌されていない。
- 2) 使用後は直ぐに洗浄すること。

**【保守・点検に係る事項】**

**〔使用者による保守点検事項〕**

〔使用前点検〕使用前には下記項目を確認すること。

- 1) 全ての部品に磨耗、損傷がないこと。
- 2) ナットを締めた状態のとき、コーンとベースプレートの孔の接している部分から光が漏れて見えないこと。
- 3) トッププレート上面が平滑であること。
- 4) ナットを締め付ける前に、トッププレート下面とベースプレートの間隔が、少なくとも 2.2mm 以上あること。



〔滅菌条件〕 次の条件にて滅菌を行う。

滅菌方法	滅菌温度	滅菌時間
オートクレーブ	121℃以下	15~30分

※詳細については、取扱説明書を参照すること。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：エア・ウォーター株式会社  
 製造業者：Allied Healthcare Products Inc. (米国)

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。